



昨年度からリハビリテーション科 大角淳一先生がNSTに加わりました!



リハビリテーション科第二部長の大角です。
これまでの赴任先でもリハ医としてNSTに参加していました。

そのきっかけは、本を正すと…

- ① 中1のときから母子家庭でした。母は看護師で（働くお母さん頑張っって！）早出や夜勤もありました。当時「エレックさん」とっていた初期の電子レンジで作り置きを温めると揚げ物や炒め物はおいしくない…ので一念発起して自分から台所に立つようになったのです。「きょうの料理」の見よう見まねから…小林カツ代さんの著書を一冊制覇して御本人とお話したこともありましたっけ。
- ② 医学生ときはパワーリフターでしたので「スポーツ栄養」にものめりこんでいました。体重1キロあたり2グラム以上のタンパク質、とか、カーボローディングとか…
- ③ 医師になって最初の指導医は整形外科とリハの両方で専門医。毎月の多職種勉強会で、一度栄養士さんの講義もありました（今から20年以上前、NSTなんて言葉がなかった頃ですよ！）。
- ④ そんなわけで、整形外科医として急性期病棟でも、また短期間ホスピスのお手伝いをしたときも、いつもずっと何かの形で栄養や食事に関わってきました。

「栄養」には「身体を養う」だけでなく、育てる、守る、大切にするという意味があります。そして「食べる」のは、ただ栄養素を補給する手段だけではありません。2012年の年間テーマだった「暮らしと栄養」をいつも考えながら、これからもNSTを通して患者さん・御家族そして地域のお手伝いをしていきますので宜しくお願いします！



第3回 NST研修会報告

2013. 8. 7 (水) 17:30~18:30 3階講堂



テーマ：保存期腎不全患者における栄養管理
医師 棚橋弘成

- ◆ 腎臓：老廃物の除去、水・電解質・酸塩基平衡の調節、各種ホルモンの活性化や不活性化、骨代謝や造血調節を行い、生命活動に不可欠な臓器
- ◆ 保存期腎不全患者の栄養管理

CKD（慢性腎臓病）ステージ分類に基づいて、必要十分のエネルギー摂取、タンパク質制限、塩分制限等を実施することが推奨される。

栄養障害を防ぎ食事療法を継続させるためには、個々の患者の生活習慣を尊重した個別対応の食事療法が必要である。

講義の後はグループでの症例検討会を行いました。職種を超えた仲間との意見交換で知識がより深まりました！



お知らせ

第4回 院内NST研修会【透析患者における栄養管理】
9月4日(水)17:30~18:30 3階講堂

第5回 院内NST研修会【心不全患者における栄養管理】
10月2日(水)17:30~18:30 3階講堂

第12回 岐阜南NST研究会

特別講演 『CKDにおける栄養管理』

講師：社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院 腎センター長 磯崎 泰介 先生

9月5日(木)18:30~20:00 3階講堂

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方ならどなたでもご参加下さい！